

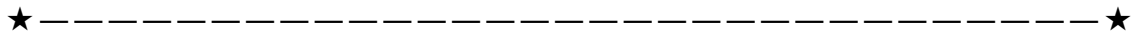


いわて マナビィ マガジン

No. 255 (令和4年度第17号) 2022.12.23

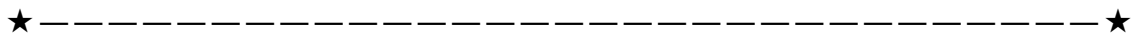


<<< 本号の内容 >>>



(特集)「障がい者の生涯学習支援活動」の推進について
～「誰もが」共に学び、生きるために～

- ① 文部科学大臣表彰団体が決定！
- ② 「ぽけっとの会」(一関市)の活動内容
- ③ 推進のための県の取組等
- ④ 「障がい者の生涯学習」を支える実践とは？



① 文部科学大臣表彰団体が決定！

先日、令和4年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰として、56件(うち個人5件、団体51件)が選出されました。

本県からは、一関市の「ぽけっとの会」が受賞し、12月6日にオンラインで表彰式が行われました！

② 「ぽけっとの会」(非営利団体：所在地 一関市)の活動内容

地域の皆さんに、重い障がいのある子供たちの存在や、その子供たちが抱える問題について知ってもらい、応援していただくことを目的に、一関市の委託事業として研修を開催しています。

◎ 主な研修の内容

- ・ 防災をテーマとした医療的ケア児・医療的ケア者の支援に必要な災害時の知識や、電源の確保など発災時の対応について学ぶ研修会
- ・ 重い障がいをもつ人たちのコミュニケーションツールとしてのICT機器の活用について学ぶ研修会
- ・ 重い障がいをもつ子供たちに必要な訪問医療を考える、訪問診療医のお二人による対談
- ・ 医療的ケアに必要な重い障がいをもつ方々が利用するグループホームの職員による講演会

本人・家族、福祉関係者のみならず、地域の皆さんの参加を得ながら、障害の理解促進のため継続的に取り組んでいます。

その他、ボランティアの方々との交流を通じてお互いを知る「ふれあいたいむ」等、楽しくコミュニケーションを図りながら、学んでいます。

文科省 HP (令和 4 年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰事例集) より

↓↓↓↓

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00086.html

③ 推進のための県の取組等

「だれでも」「いつでも」「どこでも」学ぶことができるのが生涯学習の基本ですが、「障がい者の生涯学習」という視点で見た場合、特に学校卒業後にその推進が十分に図られていない状況があり、現在、国の施策の方向性としても重視されているところです。

県では、「生涯学習文化財課」が総合窓口となって、「学校教育室」「保健体育課」「文化振興課」「スポーツ振興課」「障がい保健福祉課」にそれぞれ障がい者学習支援担当を置き、庁内連携会議を開催しています。(各市町村にも支援担当の窓口があります。)

当センターでは、昨年度までの 2 年間、「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究」を行ってきました。本年度も、研究の成果を引き継ぎながら、障がいについての理解促進や、障がい者の多様な学びの事例について知ることを目的とした「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座(中部地区・県南地区)」を「社会福祉法人光林会 るんびにい美術館」(花巻市)並びに奥州市江刺総合支所で開催しました。また、「センター・公民館主管課職員等セミナー」では、障がい者の多様な学びを支える学習プログラムの企画について研修しました。

※実施要項・実施報告書

<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/youkou/youkou.html>

また、「障がい者の生涯を通じた学習支援活動」市町村担当者研修会を当センター会場で実施するなど、県として今後とも研修等の機会を充実させていきたいと考えております。

④ 「障がい者の生涯学習」を支える実践とは？

どのような取り組みをすれば、「障がい者の生涯学習」を支えることになるのか考えにくい場合もあることと思います。イメージしやすくするために、平成 29 年度から令和 3 年度までの県内の「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰の受賞団体と、その実践概要について以下に紹介します。

○社会福祉法人光林会「るんびにい美術館」(所在地：花巻市)

障がい者芸術に気軽に触れられる美術館として、企画展を多数開催するなど、継続して障がいのある作者が創造した表現作品等の展示をしています。また、併設しているカフェやベーカリーで障がいのある人がスタッフとして働くなど、芸術分野にとどまらない活躍の場を提供しています。

○特定非営利活動法人 アートで明るく生きるかわさき(所在地：一関市)

地域の高齢者、障がい者の市民アート交流事業と障害者の自立と社会参加を目指す「工房てんとう虫」運営事業を中心として、だれもが住み慣れた地域で笑顔で暮らせるよう「あがるぐいぎる！」をモットーに地域交流の輪の拡大に取り組んでいます。

○久慈地域卓球バレー協会(所在地：久慈市)

障がいの有無に関わらず、共にスポーツを通じた交流が図ることができるよう、一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会と連携し、平成30年から大会(あまちゃんカップ)を開催しています。毎月練習会を開催したり、PTAからの依頼や各地区公民館における講習会を開催したりしています。

○山田町朗読ボランティア(所在地：山田町)

町内の視覚障がい者に、町広報を朗読・録音した音声テープを届けたり、町福祉協議会から発行される広報紙について、音声録音データの提供を行っています。また、利用者を招いて交流会を開催し、意見交換や共に学ぶ機会を設定しています。

○障がい者観光サポーターの会(所在地：久慈市)

身体が不自由な方が観光で久慈市を訪れた際のサポート及び市文化会館等でのイベント(コンサート等)に参加する際のサポートを行っています。また、スポーツイベント等での障がい者の参加支援等を行っています。

○特定非営利活動法人 岩手点訳の会(所在地：盛岡市)

県内はもとより全国の視覚障がい者のために点字図書製作を行っています。岩手県立視聴覚障がい者情報センターの点字図書製作、プライベートサービスの点訳その他依頼等による点訳や、点字・点訳の啓発・普及活動を行っています。

○いわて・きららアート協会(所在地：花巻市)

県内の知的障がいを持つ方が創作した作品を中心に公募し展示する「いわて・きららアート・コレクション」を開催しています。知的障がい者を中心とする障がい者の芸術活動を支援し、知的障がい者による優れた芸術文化活動の成果を発表することを通じて、多くの方に鑑賞の機会を提供し、障がいのある人の社会参加・自己実現と地域社会の障がいのある人たちへの理解を深めることを目指しています。

